

## 交付運用報告書

## 好配当グリーン・バランス・オープン

&lt;愛称&gt; みどりのふたば

追加型投信／内外／資産複合

作成対象期間：2025年3月12日～2025年9月11日

第103期 決算日：2025年5月12日

第104期 決算日：2025年7月11日

第105期 決算日：2025年9月11日



## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、日本の株式および日本を除く世界各国の公社債を主要投資対象とし、信託財産の中長期的成長を目指して、積極的な運用を行います。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第105期末 2025.9.11

基準価額 13,256円

純資産総額 1,292百万円

第103期～第105期  
2025.3.12～2025.9.11

騰落率※ 10.5%

期中分配金合計 250円

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

## ▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法

<https://www.sompo-am.co.jp/>

にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。

## SOMPOアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル  
お問い合わせ先：リテール営業部

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

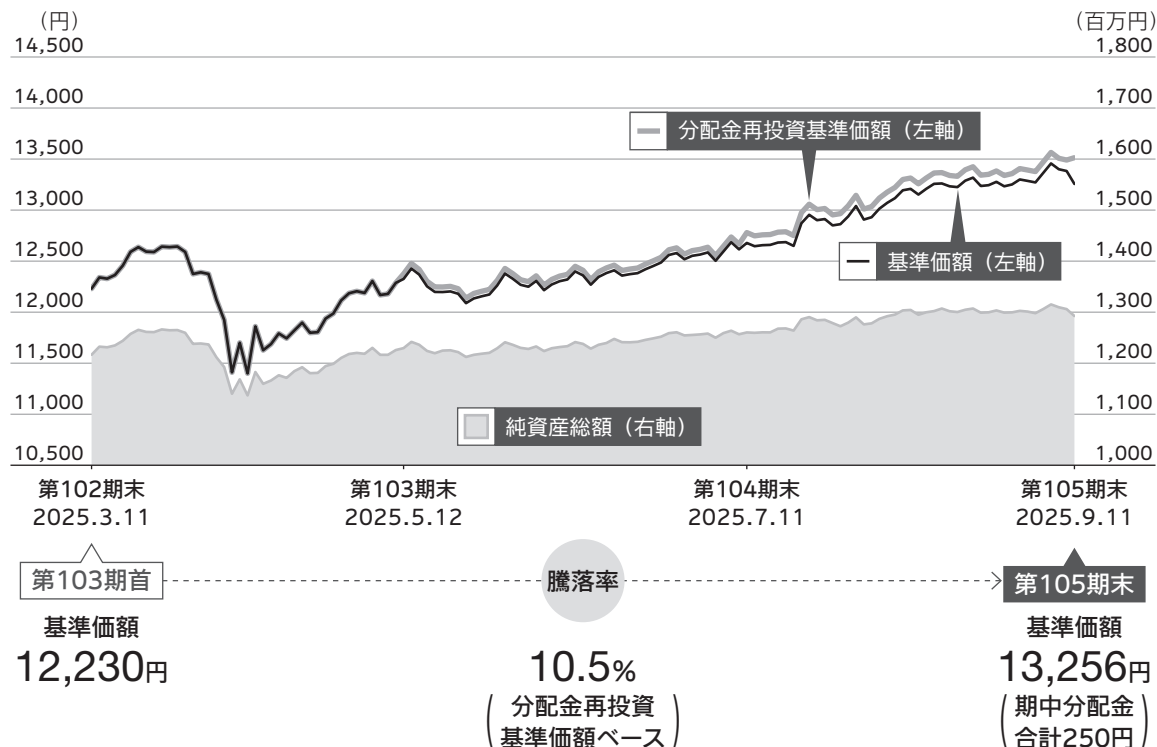


0120-69-5432

# 運用経過

## ● 基準価額の推移

基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2025年3月11日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、各マザーファンドへの投資を通じて、日本の株式および日本を除く世界各国の公社債に投資するファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ● 基準価額の主な変動要因

### 好配当グリーン・バランス・オープン

「損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド」および「損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド」が上昇したことにより、当期の分配金再投資基準価額は上昇しました。

### 損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド

期中の騰落率は+15.0%となりました。

個別銘柄では、オムロン、村田製作所などの保有銘柄が下落する一方、三菱地所、八十二銀行などの保有銘柄が上昇したことで、基準価額は上昇しました。

### 損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド

期中の騰落率は+7.2%となりました。

各国債券の利回りが総じて低下（価格は上昇）し、債券要因がプラスに寄与したことや、円に対して英ポンドや豪ドルが上昇し、為替要因がプラスに寄与したことから、騰落率はプラスとなりました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

## ● 1万口当たりの費用明細

項目	第103期～第105期 2025.3.12～2025.9.11		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	89円	0.704%	(a) 信託報酬 = 各期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は12,609円です。
(投信会社)	(42)	(0.333)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(42)	(0.333)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(5)	(0.039)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.022	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{各期中の売買委託手数料}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(3)	(0.022)	
(c) その他費用	2	0.016	(c) その他費用 = $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(1)	(0.010)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(1)	(0.005)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
<b>合計</b>	<b>94</b>	<b>0.742</b>	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

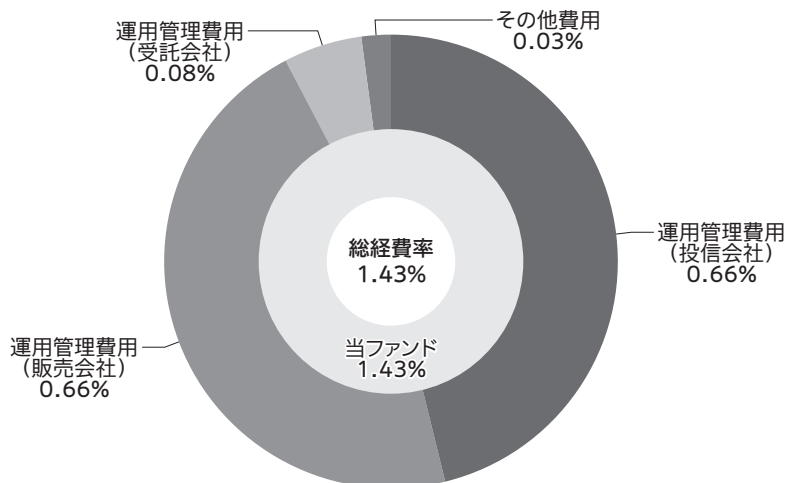
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

### ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.43%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ● 最近5年間の基準価額等の推移 2020.9.11~2025.9.11



- 分配金再投資基準価額の推移は、2020年9月11日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、各マザーファンドへの投資を通じて、日本の株式および日本を除く世界各国の公社債に投資するファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

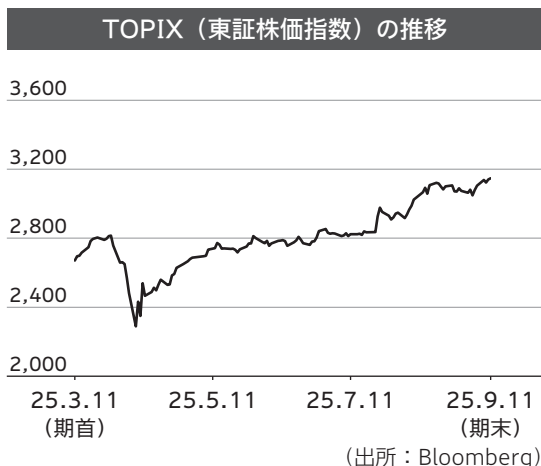
決算日	2020.9.11 決算日	2021.9.13 決算日	2022.9.12 決算日	2023.9.11 決算日	2024.9.11 決算日	2025.9.11 決算日
基準価額 (円)	9,318	10,491	10,694	11,914	12,284	13,256
期中分配金合計 (税引前) (円)	—	250	250	320	390	500
分配金再投資 基準価額騰落率 (%)	—	15.4	4.4	14.7	6.3	12.2
純資産総額 (百万円)	808	844	944	1,249	1,247	1,292

## ● 投資環境

### ○国内株式市況

TOPIXは17.9%の上昇となりました。

期初は、トランプ政権による相互関税の内容が市場想定よりも厳しいものとなったことでグローバル景気後退リスクが高まり、急落する場面もあったものの、トランプ大統領が関税政策を軟化するとの期待が高まり値を戻しました。その後は、日米関税交渉が合意に至り、自動車を含む相互関税が15%に決定されたことやイスラエルとイランが停戦合意し、中東における地政学リスクが後退したことなどを好感して上昇しました。期末にかけては、米国において労働市場の軟化が確認されるとFRB（米連邦準備理事会）による利下げ期待が高まり、大きく上昇しました。



## ○外国債券市況

### ・米国債券

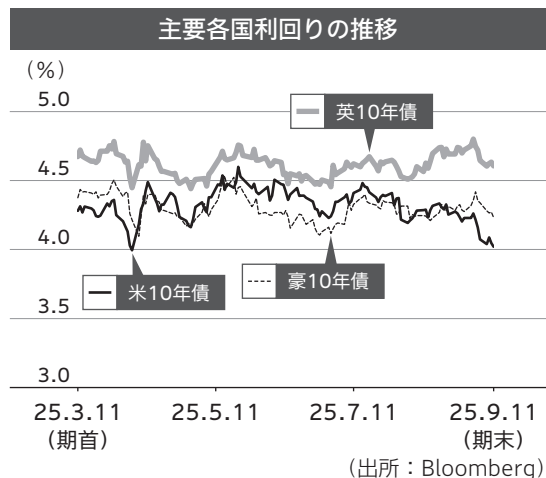
当期末の利回りは前期末を下回る水準となりました。2025年7月までは、財政悪化懸念などから利回りは高止まりしたものの、8月以降は、労働市場の悪化懸念が高まるなか、FRBが利下げ再開を示唆したことなどから、利回りは低下しました。

### ・英国債券

当期末の利回りは前期末を下回る水準となりました。BOE（イングランド銀行）が2025年5月と8月に利下げを決定するなか、先行きの利下げ観測が継続したことなどから、利回りは低下しました。

### ・豪州債券

当期末の利回りは前期末を下回る水準となりました。RBA（オーストラリア準備銀行）が2025年5月と8月に利下げを決定するなか、先行きの利下げ観測が継続したことなどから、利回りは低下しました。



## ○為替市況

### ・米ドル円

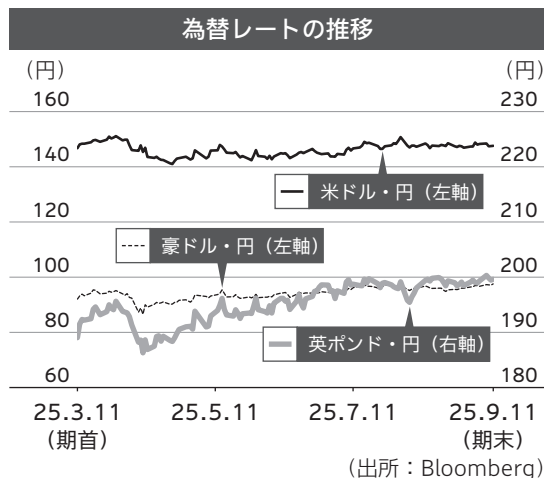
当期末は前期末に比べて概ね同水準となりました。米ドルの信認低下への警戒感やFRBの利下げ観測が米ドル安圧力となった一方、米国と各国との関税交渉進展によるリスク選好の改善が円安要因となったことなどから、概ね横ばい圏での推移となりました。

### ・英ポンド円

当期末は前期末に比べて英ポンド高円安となりました。BOEが緩やかに利下げを進めた一方、米国と各国との関税交渉進展によるリスク選好の改善が円安要因となったことなどから、英ポンド高円安となりました。

### ・豪ドル円

当期末は前期末に比べて豪ドル高円安となりました。RBAが緩やかに利下げを進めた一方、米国と各国との関税交渉進展によるリスク選好の改善が円安要因となったことなどから、豪ドル高円安となりました。



注. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

## ● 当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドは、「損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド」および「損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド」を概ね各50%の比率を基準として組入れております。

期を通じて、「損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド」および「損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド」への投資比率は、概ね各50%の比率を維持しました。

期末時点における株式のESG ポジティブ・スクリーニング投資比率は49.4%です\*。

※ ESG ポジティブ・スクリーニングとは、調査対象とする企業をESGの観点から評価し、評価の高い企業を投資候補銘柄として選定する手法です。なお、損保ジャパン・エコ好配当マザーファンドで投資している株式は、全てESG ポジティブ・スクリーニングの手法で選定された銘柄です。比率は損保ジャパン・エコ好配当マザーファンドを通じた実質比率です。

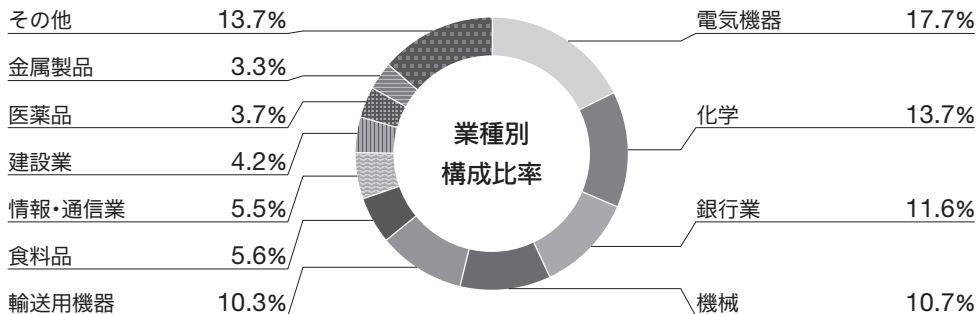
### 損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド

期を通して株式の組入比率を高位に維持しました。

期末時点での業種別構成比率はグラフのとおりです。

主な購入（ウェイトアップ）銘柄は、トヨタ自動車、信越化学工業、NTTなどです。

主な売却（ウェイトダウン）銘柄は、ニデック、大阪瓦斯、三菱UFJフィナンシャル・グループなどです。

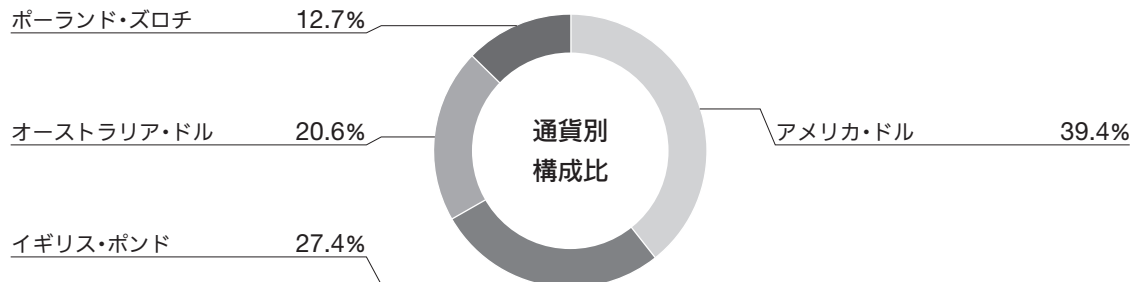


注1. 比率は、第105期末における国内株式の評価総額に対する各業種の評価額の割合。

注2. 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

## 損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド

当マザーファンドでは、分散投資の考え方にに基づき、米国を中心とした北米を40%程度、英国を中心とした欧州を40%程度、豪州を中心としたアジア／オセアニアを20%程度としたポートフォリオ構成としました。



注1. 比率は、第105期末における組入債券評価額に対する割合。

注2. 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

### スチュワードシップ方針

- ・当社は創業以来、自主運用においてアクティブ運用に特化した事業展開を行ってきました。長期的視点を持つ当社のアクティブ運用手法はスチュワードシップの精神と高い親和性があり、企業のESG情報は運用パフォーマンスに直結する極めて重要な要素として評価しています。良質なアクティブ運用を提供することを通じて、お客さまに対する受託者責任を果たしながら、投資先企業やその先にある社会・経済全体の持続的発展に貢献します。
- ・当社の「責任ある投資家としての考え方と行動方針」や「日本版スチュワードシップ・コード対応方針」、活動報告は当社のホームページをご参照ください。  
(<https://www.sompo-am.co.jp/institutional/responsible.html>)  
(<https://www.sompo-am.co.jp/institutional/stewardship.html>)

## ● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、各マザーファンドへの投資を通じて、日本の株式および日本を除く世界各国の公社債に投資するファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ● 分配金

収益分配金については、収益分配方針に基づき、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第103期 2025.3.12~2025.5.12	第104期 2025.5.13~2025.7.11	第105期 2025.7.12~2025.9.11
<b>当期分配金</b>	<b>50</b>	<b>50</b>	<b>150</b>
(対基準価額比率)	0.404%	0.393%	1.119%
当期の収益	50	50	48
当期の収益以外	—	—	101
翌期繰越分配対象額	6,108	6,120	6,019

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

決算期におけるファンドの運用成果<sup>※</sup>をもとに、分配を行うことを目指すファンドです。

※ 運用成果には、インカム収入とキャピタルゲイン・ロスの両方を考慮します。

インカム収入とは債券の利子収入や株式の配当収入等、キャピタルゲイン・ロスとは値上がり益・値下がり損をいいます。

- ・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。

## ● 今後の運用方針

### 好配当グリーン・バランス・オープン

今後も、「損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド」および「損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド」を概ね各50%程度の比率で組入れて運用し、信託財産の着実な成長を目指します。外貨建て資産に関する為替ヘッジについては原則行いません。

### 損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド

環境問題への取組状況をもとに信用リスクや流動性リスク等を勘案して絞り込まれた投資候補銘柄群の中から、当社独自の分析に基づいて割安度の高い銘柄に投資します。ポートフォリオ構築にあたっては、ポートフォリオ全体の配当利回り水準も勘案し、銘柄選択を行います。今後もこの運用方針を堅持し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。

### 損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド

今後も、インカムゲインを重視しつつ、投資妙味が高いと考えられる銘柄の組入れにより、中長期的なトータルリターンの上を目指します。

国別配分では、相対的に投資魅力度が高いと考える、米国や英国、豪州のウェイトを高位に保ち、引き続き分散投資を行う方針です。




---

## ● お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の「運用報告書に記載すべき事項」を「運用状況に係る情報」に変更するなどの必要があるため、投資信託約款に所要の変更を致しました（2025年4月1日）。

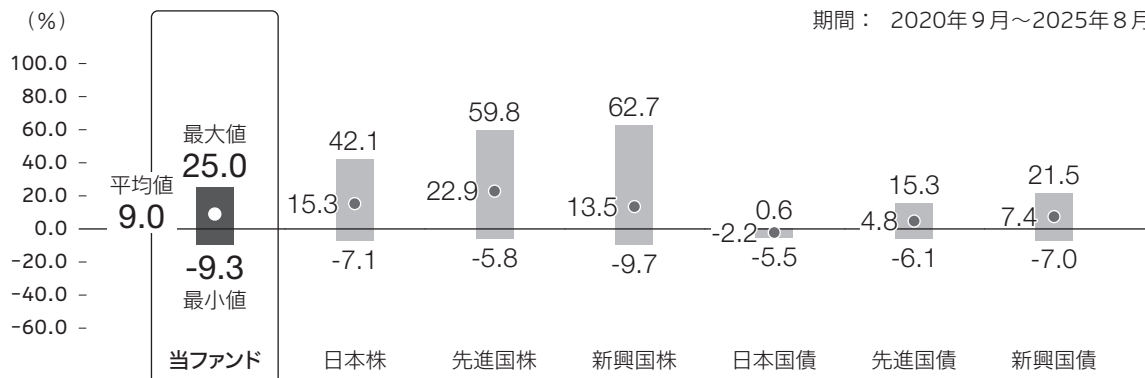
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

## ● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の中長期的成長を目指して、積極的な運用を行います。
主要投資対象	 好配当グリーン・バランス・オープン 「損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド」および「損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド」 受益証券
	 損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド わが国の金融商品取引所に上場されている株式
	 損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド 日本を除く世界各国の公社債
運用方法	① 日本の株式および日本を除く世界各国の公社債に投資します。 ② 環境問題に積極的に取り組んでいる日本の企業の株式に投資します。 ③ 主として北米（米国、カナダ）、欧州、アジア／オセアニア（日本を除く）の国債、州政府債、政府保証債、政府系機関債、国際機関債等に分散投資します。 ④ 利息・配当収入等、売買益（評価損益を含みます。）等を原資として分配します。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。原則として、利子、配当収入等を中心に安定分配を行い、毎年3月、9月の決算時には売買益（評価損益を含みます）を上乗せして分配することを基本方針とします。ただし、基準価額水準、市場動向等によっては分配を行わないことがあります。

## ● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

期間： 2020年9月～2025年8月



\* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

### \* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金 (税引前) 再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は21ページをご参照ください。

# 当該投資信託のデータ

## ● 当該投資信託の組入資産の内容

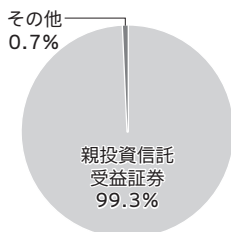
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

### 組入ファンド

	第105期末 2025.9.11
損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド	50.1%
損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド	49.2%

注. 比率は第105期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



注. 比率は第105期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

## ● 純資産等

項目	第103期末 2025.5.12	第104期末 2025.7.11	第105期末 2025.9.11
純資産総額	1,229,484,374円	1,260,221,140円	1,292,425,579円
受益権総口数	997,563,273口	994,025,118口	974,980,051口
1万口当たり基準価額	12,325円	12,678円	13,256円

※ 当作成期間（第103期～第105期）中における追加設定元本額は50,735,529円、同解約元本額は70,411,810円です。

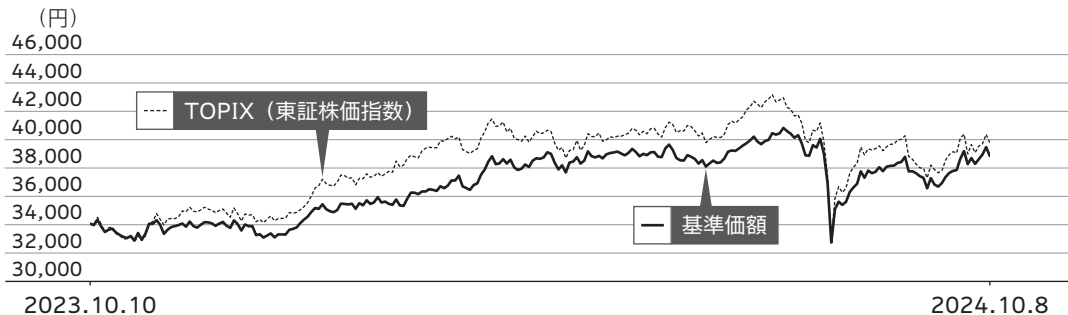
当該投資信託の組入資産の内容／純資産等

## ● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

### 損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド

#### 基準価額の推移



- 参考指標（TOPIX（東証株価指数））の推移は、2023年10月10日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

#### 1万口当たりの費用明細

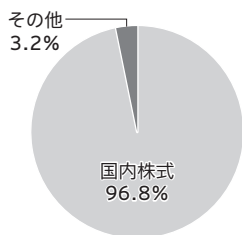
項目	2023.10.11~2024.10.8	
	金額	比率
売買委託手数料	25円	0.066%
(株式)	(25)	(0.066)
その他費用	0	0.001
(その他)	( 0)	(0.001)
<b>合計</b>	<b>25</b>	<b>0.067</b>

期中の平均基準価額は37,217円です。

## 組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 村田製作所	電気機器	日本円	日本	3.4%
2 マキタ	機械	日本円	日本	2.9%
3 ニデック	電気機器	日本円	日本	2.7%
4 オムロン	電気機器	日本円	日本	2.7%
5 三菱地所	不動産業	日本円	日本	2.5%
6 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	日本円	日本	2.4%
7 ダイキン工業	機械	日本円	日本	2.3%
8 森永乳業	食料品	日本円	日本	2.2%
9 大塚商会	情報・通信業	日本円	日本	2.2%
10 三井住友トラストグループ	銀行業	日本円	日本	2.1%
組入銘柄数		81銘柄		

## 資産別配分



## 国別配分



## 通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

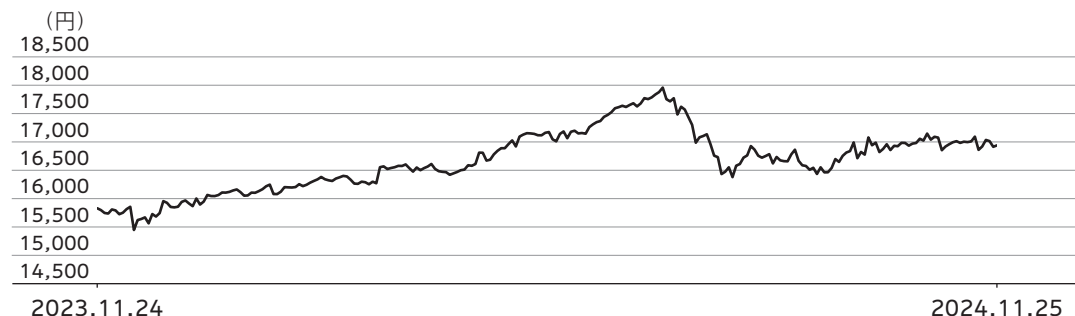
注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2024年10月8日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



## 損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド

### 基準価額の推移



### 1万口当たりの費用明細

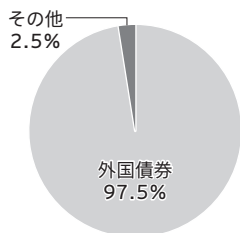
項目	2023.11.25~2024.11.25	
	金額	比率
その他費用	8円	0.050%
(保管費用)	(8)	(0.048)
(その他)	(0)	(0.002)
<b>合計</b>	<b>8</b>	<b>0.050</b>

期中の平均基準価額は16,636円です。

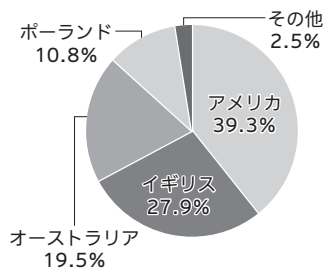
## 組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率	
1 UK GILT 4.5 340907	国債証券	イギリス・ポンド	イギリス	16.4%	
2 AUSTRALIA 3.75 370421	国債証券	オーストラリア・ドル	オーストラリア	15.3%	
3 Treasury 4.125 321115	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	13.4%	
4 UK GILT 6.0 281207	国債証券	イギリス・ポンド	イギリス	11.5%	
5 POLAND 5.75 290425	国債証券	ポーランド・ズロチ	ポーランド	10.8%	
6 Treasury 7.625 250215	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	10.8%	
7 Treasury 6.25 300515	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	7.7%	
8 AUSTRALIA 4.75 270421	国債証券	オーストラリア・ドル	オーストラリア	4.2%	
9 Treasury 4.625 400215	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	3.9%	
10 Treasury 3.625 530515	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	3.5%	
組入銘柄数		10銘柄			

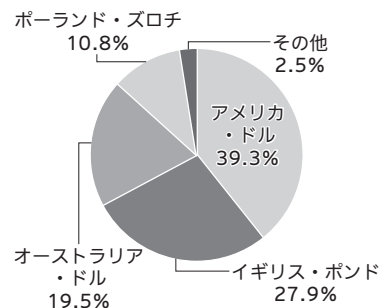
## 資産別配分



## 国別配分



## 通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2024年11月25日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

## ● 指数に関して

### 「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

#### ■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

#### ■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ■ NOMURA-BPI国債

野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。

#### ■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### ■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。